

この夏は 地元で楽しい思い出を



国東市観光課
観光係長
中野 浄昭

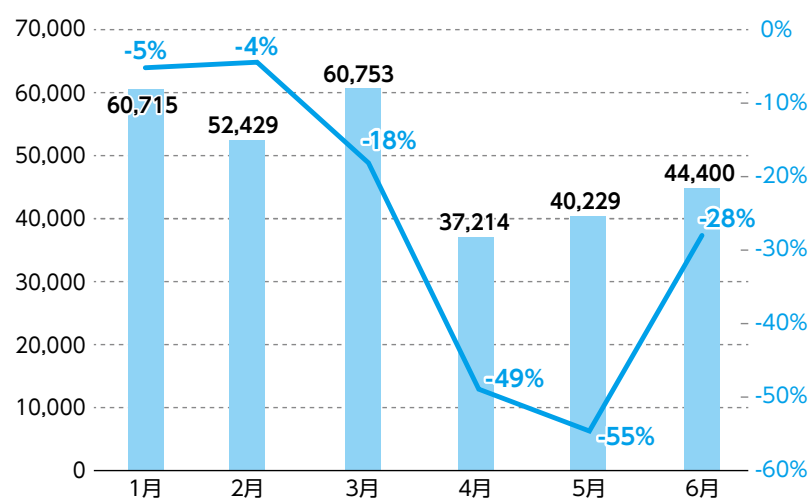
新型コロナウイルスの影響により、市内の観光業は大きな打撃を受けています。六郷満山開山1300年やラグビーワールドカップ等で順調に増加していた市の観光客数は、この数か月でひどく落ち込んでしまいました。しかしながら、国が発した「移動自粛の全面解除」や「GOTOトラベルキャンペーン」は、観光関係者にとって明るい兆しです。ウイルス感染防止のため、サイ

クリングやマリンスポーツなど、まずは屋外観光から宣伝を開始したいと考えています。また、市民の皆さんには、遠くに行きにくいこの夏は「市内観光」に目を向けていただきたいと思っています。おすすめの観光施設を次のページで紹介していますので、ぜひ地元で楽しい思い出を作ってください。

観光客数が大幅減

緊急事態宣言中の4月と5月、市の観光客数がそれぞれ前年同月比で-49%と-55%を記録。観光客が半減するという、かつてない事態に見舞われました。同宣言の終了で6月はやや持ち直したものの、依然厳しい状況です。観光関係者は、今後の客足回復に期待を寄せています。

国東市観光入込客数(人)



令和2年(2020年)

支援策として消毒液を配布

市は、観光関係者に対する支援策の一環として、市内の観光施設約140か所に消毒液250本を配布しました。施設の入り口やトイレなど、観光客の出入りの多い場所に設置してもらうことで、ウイルス感染防止に努めます。



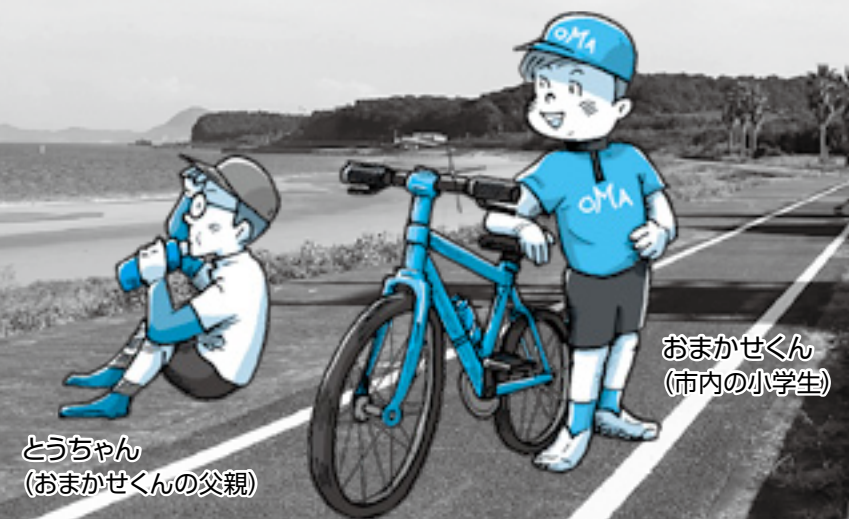
6月25日、両子寺に消毒液を配布

特集

今年の夏は

くに さき
地元で
遊ぼう！

市内観光で
くにさき「再発見」



とうちゃん
(おまかせくんの父親)

おまかせくん
(市内の小学生)

6月19日に、国は新型コロナウイルス感染拡大防止のために呼びかけていた「都道府県をまたいだ移動の自粛」を解除しました。徐々にですが、観光やレジャーを楽しむ日常が戻りつつあります。しかし、都市部を中心にウイルス感染拡大の危機も続いています。

8月7日から24日にかけて、市内の小中学校は夏休みに入ります。臨時休校の影響で期間短縮となった夏休みですが、「夏はどこかで遊びたい」という気持ちは変わらないのではないのでしょうか。その一方で、ウイルス感染にも注意しなくてはなりません。そこで注目していただきたいのが、市内観光です。

市内には、皆さんに楽しんでいただける場所がたくさんあります。近くて安全、そして、地域の魅力の再発見にもつながる「市内観光」。今年の夏は、地元で遊んでみませんか。